

子規博特別講座

夏季子規塾

樗堂と遊俳たちの地域文化

令和4年7月24日(日) 14時 - 15時30分

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止もしくは内容等の変更を行う場合があります。

松山市立子規記念博物館 4階講堂

近世後期の俳諧隆盛を支えたのは、「遊俳^{ゆうはい}」と称される多くの地方俳人でした。なかでも伊予俳人栗田樗堂^{くりたちょうどう}は、芭蕉思慕の立場から俳諧に真摯に向き合い、一茶をはじめ多くの俳人に大きな影響を与えました。樗堂の活躍の背景には、伊予の成熟した地域文化があります。樗堂の俳諧世界を垣間見つつ、その背景にある伊予の地域文化の厚みを紹介します。

●参加費：無料（事前申し込みが必要）

●申込方法

①氏名 ②電話番号 ③参加人数を明記し、ご来館またはメール、FAX、お電話にてお申し込みください。

●定員 90人（定員になり次第締切）

[宛先] 〒790-0857 松山市道後公園 1-30
松山市立子規記念博物館「夏季子規塾」係
TEL 089-931-5566 FAX 089-934-3416
メール sikhaku@lesp.co.jp

主催：松山市教育委員会
(運営：指定管理者株式会社レスパスコローポレーション)

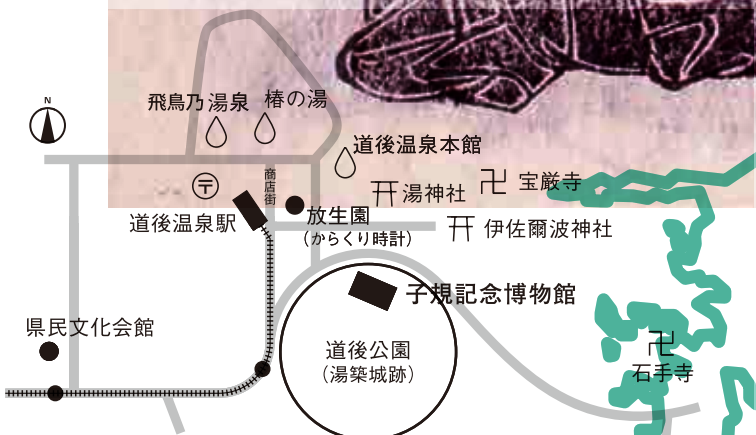


講師 松井 忍 氏

1952年生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了。NPO法人GCM 庚申庵倶楽部理事長。松山東雲女子大学名誉教授。著書：『伊予俳人栗田樗堂全集』（和泉書院、2020年）（共著）『鳳朗と一茶、その時代—近世後期俳諧と地域文化—』（新典社、2021年）（共著）『伊予郡中の俳人仲田琴村』（学び合う会、2021年）（監修）ほか。論文：「菅沼奇淵と伊予朝倉連—無量寺藏奇淵書簡を中心に—」（『連歌俳諧研究』第131号、2016年）「栗田樗堂『萍窓集』小考—『石耕集』との比較を通して—」（『近世文藝』第111号、2020年）ほか。



「萬家人名録」より樗堂肖像



松山市立子規記念博物館

〒790-0857 松山市道後公園 1-30

TEL 089-931-5566 <https://shiki-museum.com>

道後温泉駅より徒歩約5分 / 道後公園駅より徒歩約5分 ※公共の交通機関をなるべくご利用ください

